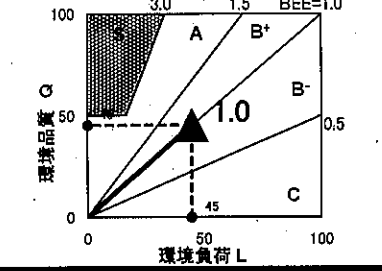
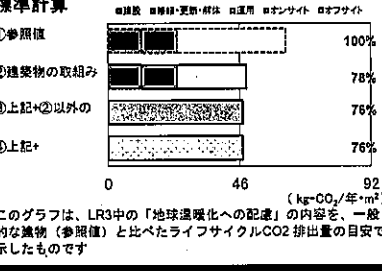
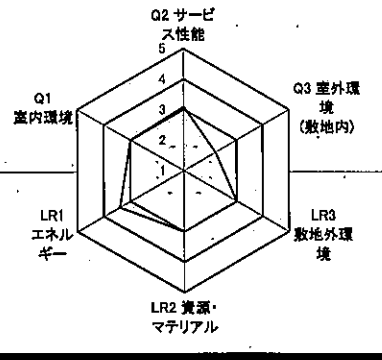
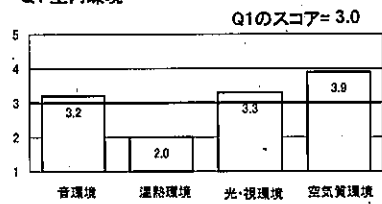
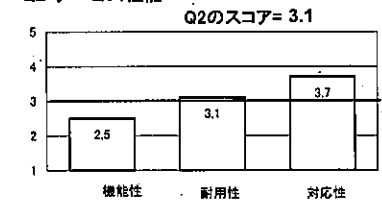
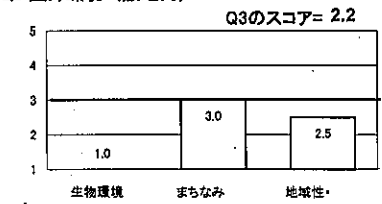
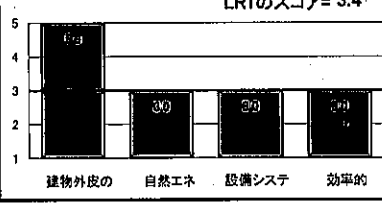
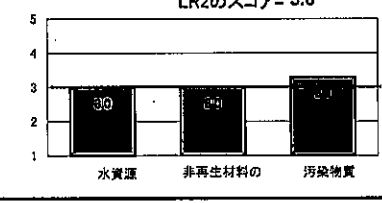
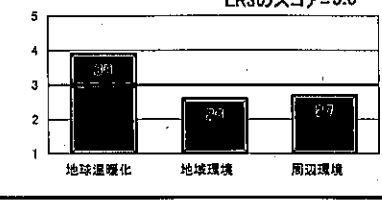


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_環境版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要 建物名称 看護学校整備事業 学舎 建設工事 建設地 京都府与謝郡与謝野町字山山小学 用途地域 宮津都市計画区域 特別基準指定区域、防火地域・指定なし 地域区分 5地域 建物用途 学校 竣工年 2026年12月 予定 敷地面積 2,847 m ² 建築面積 1,465 m ² 延床面積 3,703 m ²		1-2 外観 									
階数 地上4F 構造 RC造 平均居住人員 370 人 年間使用時間 1,920 時間/年(想定値) 評価の段階 実施設計段階評価 評価の実施日 2024年12月27日 作成者 齊藤 直 確認日 2025年1月10日 確認者 今井 一雄											
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) BEE=1.0 ★★★★★☆☆☆☆ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 		2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 78% ③上記②以外の 76% ④上記+ 76% 									
2-3 大項目の評価(レーダーチャート) 											
2-4 中項目の評価(バーチャート) Q 環境品質 Qのスコア= 2.8 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2 											
LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0  LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0 											
3 設計上の配慮事項 <table border="1"> <tr> <td> 総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。 </td> <td> その他 特になし。 </td> </tr> <tr> <td> Q1 室内環境 開口部遮光性能T-2以上。 2.5%≦[昼光率] </td> <td> Q2 サービス性能 階高: 3.7m以上、3.9m未満。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3 </td> <td> Q3 室外環境(敷地内) 特になし。 </td> </tr> <tr> <td> LR1 エネルギー BPlm=0.52。 </td> <td> LR2 資源・マテリアル ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 </td> <td> LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率78% </td> </tr> </table>				総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。	Q1 室内環境 開口部遮光性能T-2以上。 2.5%≦[昼光率]	Q2 サービス性能 階高: 3.7m以上、3.9m未満。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	LR1 エネルギー BPlm=0.52。	LR2 資源・マテリアル ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78%
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。										
Q1 室内環境 開口部遮光性能T-2以上。 2.5%≦[昼光率]	Q2 サービス性能 階高: 3.7m以上、3.9m未満。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。									
LR1 エネルギー BPlm=0.52。	LR2 資源・マテリアル ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率78%									

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される